

令和元年度 第1回学校関係者評価委員会議事録

1. 日時 令和元年9月30日(月) 午前9時30分～11時00分

2. 場所 高知理容美容専門学校 別館2F

3. 学校関係者委員(敬称略)

一ツ松 はつみ	美容店経営(卒業生代表)
今城 美紀	美容店経営(地域代表)
堀川 和之	美容店経営(保護者代表)

4. 学校側

校長	近藤 邦夫	
副校長	川村 なお	美容科教員
事務長	増田 栄司	
教務主任	清藤 千秋	理容科教員

5. 委員会次第(概要)

- ①開会
- ②学校関係者評価委員紹介
- ③委員長(議長)選出
- ④学校長挨拶
- ⑤学校運営計画の説明
- ⑥学校長より自己点検・評価についての説明

6. 実施内容

川村副校長より本会の開会宣言があり定刻に開会した。

会次第に沿って、委員長に校長、副委員長に川村を互選により決定した後、会議に入った。学校運営計画に続いて、自己点検項目ごとに評価、改善点等を説明した。各評価委員には、事前に自己点検・評価報告書及び学校評価に関する資料等を配布させていただいた上でご意見等をいただき、取り纏め致しました。

7. 学校関係者評価委員会からの助言等

(1) 教育理念・目標について

- ・教職員の共通意識の徹底と目標を定め、社会・業界ニーズに向けた企業と連携した授業計画について今後の課題を含め説明。
全委員異論なく承認した。

(2) 学校運営について

- ・年度毎に学校運営計画を策定、教職員との共有化を行っている。
教育活動等についてホームページ、SNSなどを通して情報を発信している旨説明。
全委員異論なく承認した。

(3) 教育活動について

- ・主に、日本理容美容教育センターの方針に沿った授業計画を立て実施している。また、特色を出すためのカリキュラム作りも行っている。

授業評価の体制は構築できていないので今後検討の必要はある。教職員の能力開発のための研修は、毎年定期的に行っている。

【委員】

- ・業界外部講師を辞めたのは何か理由があるのですか。

【回答】

- ・職業教育を進めて行く中で、カリキュラムの見直し等によるものです。その他に質問なく全委員異論なく承認した。

(4) 学修成果について

- ・退学・休学者問題は、学校経営に影響する重要なテーマであり、常に保護者と連携していくことにしている。保護者と各担任が連絡を取り合い情報を共有化していることで防止に努めている。
- ・卒業生の活躍状況など十分に現状把握ができる体制、組織作りが構築できていない。現段階では就職先の企業又は卒業生からの報告による確認となっているが、今後は企業へのアンケート実施などにより卒業生の動向を追ってける体制づくりを目指していきたい。全委員異論なく承認した。

(5) 学生支援について

- ・進路・就職については担任を主に適正に支援体制が機能している。
- ・学生に対する経済的支援体制については「入学時0円サポート」の導入により学費の分納を実施している。
- ・遠隔地出身の学生には「一人暮らし応援制度」として学生アパート等の斡旋及び月額1万円の支援を行っている。
- ・保護者等へは、年間4～5回の「RIBI 通信」を発行、学校行事などを紹介している。
- ・卒業生への支援対策としては、国家試験前対策への無料参加を行うなど、資格取得まで引き続き支援している。
- ・マナーなど、基本的社会人になるための授業への取り組みにより、職業意識の向上を図っている。全委員異論なく承認した。

(6) 教育環境について

- ・施設の耐震強化工事は施行済み、その他、防災対策計画書の作成や備蓄品に関する整備を検討している。
- ・防災に関する地域との連携ができていないので、地域の防災活動の一員に加入することも検討したら、とのご意見を頂いた。今後、前向きに検討していく旨回答した。全委員異論なく承認した。

(7) 学生の受け入れ募集について

- ・学生募集活動に関しては、ホームページにて情報発信を行い本校のPR活動を行っている。学費等に関しても全てを公開している。全委員異論なく承認した。

(8) 財務について

- ・財務情報公開はガイドラインに沿って財務関係も開示をしている。全委員異論なく承認した。

(9) 法令の遵守について

- ・自己点検評価の実施、自己評価報告書の公開をしている。諸課題に対しては真摯に向き合い改善していく旨説明した。
全委員異論なく承認した。

(10) 社会貢献・地域貢献について

- ・例年、献血運動や福祉施設でのボランティアカットを実施している。昨年度は田野町でのイベントにおけるメイクボランティアを行ったが、本年度は台風によりイベント中止となり参加できなかった旨を説明した。

【委員】

- ・地域のイベントへのボランティア参加のご意見を頂いた。
よさこい踊りのメイク直しボランティア、ハロウィンコンテスト、交通整理、地域の清掃など、学校の周辺エリアのボランティアは検討できないでしょうか。

【質問・回答など】

- ・学校行事との兼ね合いもあり、年間行事として計画できるか検討して前向きに対処していく旨を回答しました。

8. 閉会

終わりに、校長から各委員へ貴重なご意見、助言に対してお礼の挨拶を申し上げ、川村副校長から本会閉会宣言があり本会を閉会した。

令和元年度 第1回理容科教育課程編成委員会議事録

1. 日時 : 令和元年9月30日(月) 10:50~12:10

2. 場所 : 高知理容美容専門学校 別館2F

3. 参加者

弘瀬 伸洋 理容店経営

岡 尚吾 理容店経営

八木 伸也 理容店経営

近藤 邦夫 高知理容美容専門学校 校長

川村 なお 高知理容美容専門学校 副校長

増田 栄司 高知理容美容専門学校 事務長

清藤 千秋 高知理容美容専門学校 主任

4. 委員会次第

- ① 開会宣言 川村副校長より開会宣言があり定刻に開会した。
- ② 学校長挨拶 お礼等挨拶を行い忌憚のないご意見をお願いした。
- ③ 委員長選出 委員長に近藤校長、副委員長に川村が就任
- ④ 議事進行

1. 会議成立要件の確認 全員出席にて成立を確認 【確認】

2. 学校運営の現状等 【説明】

校長より学生在籍数など学校運営の現状等について説明を行ない、職業教育の質の向上に向けて、サロン現場のお立場から見たご意見、ご提案をお願いしたい旨の挨拶を行った。

3. 年間授業計画の説明【説明】

2019年度企業・団体等との授業計画も踏まえて授業計画等について清藤教務主任より説明を行った。

4. 主要議題 【審議】

議題1. 「リーダーシップの取れる人材づくりについて、専門学校の在り方について」

【委員より下記のご意見を頂きました】

- ・ゲーム形式の授業を取り入れコミュニケーション力を伸ばす
- ・グループワークを通して、考える力、自己表現力の強化をしていく
- ・休日の過ごし方にも問題、可能な範囲でバイトを経験してもらう

議題2. 「企業実習(サロン実習)の実施と在り方について」

【委員より下記のご意見を頂きました】

- ・サロン実習時に学生の真剣さが感じられない。雇用関係がないことも、一つは関係しているのではないかとの意見がありました。
- ・サロン側も雇用関係がないとは言え、評価がどうしても甘くなる
- ・学校側もサロン側より実習評価をしてもらっているが、成績評価に反映していないので、厳しさが原因の一つにもなっているのでは、との意見が出された。
- ・テーマを決める、勉強させてもらう立場であり、お金を払う気持ちでサロン実習に向かわせる気持ちも必要。

【閉会】

以上の意見が交わされ、川村副校長より本会閉会宣言があり本会を閉会した。

令和元年度 第1回美容科教育課程編成委員会議事録

1. 日時 : 令和2年1月27日(月) 10:00~11:10
2. 場所 : 学校法人高知理容美容学園 高知理容美容専門学校 別館2階
3. 委員

今橋 幸男 美容店経営
岡崎 ゆかり 美容店経営
刈谷 幸作 美容店経営

近藤 邦夫 校長
川村 なお 副校長
増田 栄司 事務長
清藤 千秋 教務主任

4. 委員会次第

- ① 開会宣言 川村副校長
- ② 学校長挨拶
- ③ 議長選出
議長 近藤校長、会議進行 川村副校長
- ④ 質疑応答など

1. 学校運営等の概要説明 [校長説明]

校長より学校を取巻く現状等について説明を行いました。

今後、県内の18歳人口予想について「学校基本調査」資料に基づき、説明を行いました。向こう10年間で約1,000人規模の生徒が減少すると予想され、生徒確保していく上で、いかに「魅力ある学校づくり」をしていくか、募集面、教育面等を踏まえた差別化戦略に関するご意見をサロン現場の視点からお願いしたいと思います。

2. 川村副校長より、本年度の主たる授業、各種検定、国試対策等の説明を行った。

参考資料として、別紙「各検定の動向」を配布。

3. 国家試験不合格者について、就職はどうなるか。[今橋委員質問]

働きながら次回の試験を受験するので、学校としてフォローしている。

4. 就職への取組み方について [今橋委員質問]

サロン説明会を4月県内サロン、5月県外サロン、6月県内サロン、11月県内サロン、と4回実施しています。

5. 検定・技術など卒業までに修得しておくべき課題、実践教育としたテーマなど、授業等の中に組み込んだら良いものはありませんか。[校長]

技術的指導は各サロンで教えますので、SNSなどを使用したサロンのPR方法、最近では店のPR、自分のPRから集客に繋がっているの、そうした知識を修得してくれていたら大変助かると思います。[今橋委員]

6. 今の時代に合った戦略方法、発信の仕方であり賛同できます。[刈谷委員]

7. 少子化に対してどう取り組んでいきますか。[校長]
最近のサロンの在り方として、美容室&リラクゼーション&スパなど県外店舗で目立ってきている。県内でフットケアを始めたが一定の需要もあり、組合員にも浸透するように活動している。いつまでも、長く、自分の足でご来店してもらいたい、という気持ちから始めました。
このように複合的なサロンの在り方に対して、組合員として授業等で何か手伝えることがあれば取り組む用意があります。[岡崎委員]
8. 先般、BSTV 番組で複合型店舗経営(1F サロン、コインランドリー・2F 喫茶)で業績好調な事例が紹介されていましたが、どのように感じますか。[校長]

全国的に美容室の出店も多いが倒産も多くなってきているようです。また、フリーランス美容師も増加してきています。学校として、従来の美容師としての業務以外の関連した業務にも進路選択できるような「拡散型」の教育ができる学校とした在り様もあるのでは。[今橋委員]
9. 美容師数、組合サロン数も減少してきている。[刈谷委員]
10. 学生増を目指す方法として、プロの講師陣の充実、高校生が共感する内容、若者にとって興味を持つ内容を授業の一環ですることも大事ではないでしょうか。[今橋委員]
11. 2年間集中できる内容も必要。[岡崎委員]
12. 学校とし退学者を出来る限り、出さないように対応していますが、近年の年平均5名程度はいますが、過去の実績を見ると更に多くの退学者を出しています。経営的な問題もありますので、退学率は3%台に抑えていきたいと思っていますが、個性のある生徒が増えていきますのでなかなか大変な一面もあります。[校長]
13. 悩みを聞くのも先生の仕事であり、スキルアップも必要だと思う。[今橋]
14. 目標意識を持たず意識付けに、県外の業界美容師の話を聞く「講座」を毎年行っていますが、身近なところで、県内サロンのオーナーから話を聞く「講座」はなく、そうした機会を作ることも、現場のサロンの流れが解るし、何が必要か、刺激ともなるのではないのでしょうか。
授業の一環として、学年、時期等考えての対応も可能であり、差別化戦略として良いのではないのでしょうか。[校長]
15. 全員が同じ気持ちで、美容師を目指して入学してきていないでしょうから、好きを見つけるように仕向けて行く。目標のある人、目標のない人がいると思いますが、選択肢を提供できるように学校にする努力、レジェンドとして、「自分史」を聞かせてもらえる機会があれば協力します。[岡崎委員]
16. 就職に関して、本年度から日本教育センター、各都道府県の組合、養成施設の産学連携事業が始まります。組合に県内サロンの求人を中心させて、共有化していく取り組みです。[校長]
17. 地元人材を残していこうという取り組みでしょう。[岡崎委員]
18. その子にあった指導をした方がいいと思います。[今橋委員]

[閉会宣言]

今日のテーマについて、多くのご意見を頂戴しましたので、学校として、今後の取組を検討してまいりたいと思います。本日は有難うございました。